なかさと
発行所 中里村公民館
印刷所 十日町新聞社

渡邊村長急逝

去る十一月二十八日十二峠道路開さくのため道路公團關東支社長並に縣土木部長を現地に案内し、途中惡感を訴え、歸宅した渡邊村長は、その後自宅に療養していたが、惡性の感冒と診斷され、十二月一日上村病院に入院加療に務めるも、その効なく、ついに二日午前十一時二十五分、腦溢血を併發し、逝去された。享年六十七歳。

故人は明治二十四年生れ田澤高小卒後縣農事講習所を出て、郡蚕糸同業組合につとめ、大正十五年郡役所書記を振出しに官界に入り縣種畜場縣農務課を勤め、その首席屬迄進み、昭和二十一年依願退職、その年縣農協生産連に勤め總務課長を始めとし、生産連の会計主任に続いて指導連の副會長を歴任され、郷党の立志傳中の人といわれた。

二十四年功成り、名を遂げて故山に帰るや、息つく暇もなく、田澤農業協同組合及び同共濟組合長におされ、更にその郡の連絡協議會長となつて、兎角おくれた郡内農業政策に敏腕を振い、三十年四月中里村が誕生するや、村民一致を以て初代村長に選ばれ、今日に至つたもので、明朗で人格識見高く、豪放である一面内部についてはこまかな性格で「自信を以つて努力するのだ」というのが信念であつた。

故渡辺村長村葬執行

故渡邊村長の村葬は去る十二月七日午前十時より田澤小學校講堂において政界官界、村内有志その他四百名の參列のもとに、厳かに仏式で行われた。

年賀交換会
二日田沢小で

來年の年賀交換會は、渡邊前村長が亡くなられたので中止する予定だつたが、故渡邊氏が常に「生活簡素化」に熱心だつたので、その遺志をんくで、二日午前十時から會費持寄りで田沢小學校で全村を對象の年賀交換會を行うことに決定しました。出來る限り多數の皆さんが出席するよう希望しています。なお地区の交換會はその地区の希望によつて近く決めます。

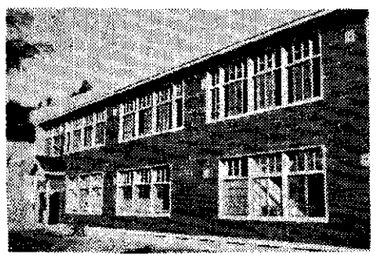
村長選挙

渡邊村長の急逝により、後任村長選挙について去る十日選挙管理委員会を開き十二月十八日告示、同二十五日一般選挙を行う。

歳末防犯運動

◇百のカギより一人の留守居
◇カギは心の窓に戸に
◇盗られぬ注意盗らせぬ工夫
◇街にスリ家には空巣がねらつている
◇うますぎる話のうらになにかある

高道山校増改築落成



高道山校の増改築工事がこの程完成、十一月二十五日これが竣工式を、村内外の多數の来賓臨席のもとに盛大に行つた。

本校は去る二十九年に県知事より危険校舎として、改築命令を受けていたもの

出来上つた高道山校

かねて施行中であつた高道山校の増改築工事がこのたびのびのびとなつていたもので、町村合併五カ年計畫の第一着手に編入、ここに増改築がなつたもので、小學校改築分約二八〇坪で、普通教室四、特別教室三、その他管理室七、中學校は約九三坪で、普通教室三、特別教室一、と一應必要最少限の施設が出來たわけである。

年末年始は

公民館ではあらゆる場に常に實践の課題を提示し、村民みなさんの関心に訴え自覚を喚起し、創意と工夫を促して來たが、ここに年末年始について再び掲げお互の今年の生活反省を願うと共に、來るべき年に更にこれが村民全体の中に、自主運動として實践されることを期待するものである。

◆ハッキリ計畫を立て生活設計をしよう。
形式的な贈答はやめよう
◆門松は自粛しよう。
◆形式的な賀状はやめよう
◆年賀廻禮は玄關先ですませよう。
◆お互い助け譲り合おう。
◆みんなで何事も注意し合おう。

展覧会

高道山小学校六年 樋口源和

十一月二十五日には僕達が待ちに待つていた高道山小学校増改築の落成式が行われました。

僕たちは此の日を毎日々々待つていました。落成式が終ればすぐ新校舎に入れると思つていました。その日は望みどおり新校舎に入ることが出來ました。

一年生はお子をもらうと云うのでふろしきをもつて、朝早くから來ていました。運動場にはもうずつとどざがしいてありました。

秀一君たちが來て展覧会を見ていて僕が行くと「源和來て見れやあ」と云つて呼びました。僕が走つて行くと中學生が電車を動かしていました。

そばでは友だちが大ぜいで電話をいじつていました。僕も電話をかけようとすると、繁雄君や定利君たちがいて「ンナはおれのあとだぞ」といつて「一番うしろにならべ」といいました。僕の番のときには相手は武君でした。

いろ／＼冗談を話しているとうしろには何時の間にか大ぜいの友達がならんでいました。「もういいだろう」「もういいだろう」といながら背中をつつくので僕はやめました。

一年生の作品から分校の作品、中學生の作品まで全部見てからサイレンがなつて落成式がはじまりました。

らんかん出来た清津橋

第三次大戦中、金属回収と敗戦の混乱で、らんかんのない危険な橋となり、數名の犠牲者まで出した清津橋はこの程コンクリートを以て昔のままの姿に修繕再現が出來た。

歳末たすけあい運動

親の身に子の身になつてたすけあい
一人の不幸はみんなの不幸
みんなで明るい正月を

愛の手を苦しむ人に病む人に
たすけあいみんなニコニコ
明るい社會

ヤケドの御用心

イロリはアツという間に悪魔のるつぼにしてしまうのがこれから多くなる。煮立つたナベをかぶつたやけどもまたひどい。

子供のやけどはわが國では多いので、三人子を持てば一人はやけど、と云われている。

むき出しの火の多い生活と、多忙の母と、いたずら盛りの子供の間にまつわる因果といえよう。

これもその一例だが、ある母が毎朝カマの底に残つた御飯でおにぎりを造つてやる癖を子につけた。これはおいしい。子供は毎朝ヨチヨチ台所に來てはそれをねだる。なごやかな一コマからこの家の活動ははじまるのである。

ところがある朝のこと、子供の來方が少し早かつた。御飯が出來て、カマをおろし、母がふたを取つたと同時に紅葉の手が御飯をつかんだ。キャアツと云つて飯を放した。しかしもう遅い。ねばりついているから飯つぶは離れない。

驚いた母親が水で洗つてそれをとりにかかつたが、いとしや一諸に子の皮膚がついて來る、といつた過失であつた。子供のやけどはその時は軽く見えても、次第に重くなるものであるから注意されたい。やけどはその場の手当が大切で、大きく云えば医者に行くまでの手當の上手、下手が命にさえかかわる。からだの三分の一やければ、四、五日以内に魂は滅びるといわれる。これもいろいろの説もあるが、やけてかいし（潰死）した組織のたん白質が分解して毒となり、吸收されて肝、ジン臓の働きが弱るのだとある。

医學的にはやけた度合でやけどを三級にわけて手当するが、一般家庭で起るのはそう大きな失敗は少なくコタツやイロリに足を突込んだり、鉄びんをひつくりかえして灰かぐら程度である。この時あわてて水に入れるのが一番わるい。すぐ油をつけるのが手当の妙法である。油はなんでもよい。菜種油や天ぷらに使つたゴマの油、頭に使うツバキ油、ポマードなどでも結構。これをといて柔らかい布（脱脂綿なら上々）にぬり、患部を包んで空氣を入れないようにする。

この時あらかじめオリーブ油一〇〇に亜鉛華五〇を溶かしたものを用意しておけば、カチカチ山のタヌキにほめられるお母さんであろう。そしてひふくれが出來たら、その上をマーキロ（赤チンキ）で軽く消毒し縫針の先をよくおこつた火にちよつと入れて焼き、冷めたらこれでちよつとつきさし、水を出し、また油をぬつておくのである。やけどに油をおわすれなく。この冬の子供をやけどの禍から守つて下さい。

俳句

日俳中里支部選

春雷　雨
今年こそ今年こそはと明けの寄　同　人
停年期人事ならぬ落葉路　紫紅
虹を吐く谷照り映へて夕時雨　同　人
栃の實を干しささやかな平家村　同　人
芋狩りや一の字引へて飛行雲　六花
湯の宿は紅葉に更けて唄遣し　六花
つとめ果て其處に斃れて案山子かな　峰月
鶏群雑沓師走の風に立向ふ

わさび粉とからし粉の上手な練り方

わさび粉も、からし粉も熱湯で手早く強くかきまわすことがコツ、このようにすることこれらの細胞膜を破つてカラミがでるのです。

それともうひとつは、こうしてかいた粉をそのまま放置せずに容器をさかさにしてしばらくおくするとからみがぐんとでます。

それはこのカラミは揮發性のものであり、さかさにすれば揮發が防げるからです。

流行性感冒について

インフルエンザ（流行性感冒）はインフルエンザヴイルスと云う普通の細菌の十分の一位の非常に少さい微生物によつて起る急性傳染病であります。

このヴイルスにはABCの三つの型があり、今までの經驗では大きな流行の原因となつたのはA型とB型ですが、今度の流行の型はA－東京－五七型と云つて今までの型と變つていますので、今の人々は此の型の病原体に對して全然誰も免疫を持つていないのです。

この点が今度の流行がこれまでと變つているわけで從つて流行が中々止まり難い傾向であるわけです。

甚だ傳染力が強く患者の咽頭の中に澤山增殖したヴイルスが、咳やくしやみで飛びちり、空気中に飛沫狀に飛んでいるのを次の人が吸いこみ、次から／＼へと傳染します。

最近二十四時間内外の潜伏期で急激に發病し、先ず寒気がし、頭痛をともなつて三十八度／三十九度或いはそれ以上に体温が昇り、熱のある間は寒氣が頻りに來て腰痛、筋肉痛、腹痛が起つたり、吐き氣があつたり、便秘をする者も多いが中には下痢を起すものもあります。大變口がまずくなり、非常にのどが乾きます。咽頭痛があり咳、くしやみや鼻汁が多くでて、發病して二、三日後に鼻血が出ることもあります。

手當としては安靜第一とし寒氣のする時は身体を暖かくし、熱が昇つて來たら頭を冷やし食物は特に注意することもありませんが、食慾に從つて與えてよろしいが、大變口が渇きますから水、番茶、果汁、スープなど好みによつて量は制限せず、欲するだけ與えてよろしい。

尙次第に悪化の傾向があり、肺炎等の余病を起す患者が多くなつて來ていますから注意していただきたい。

予防法としては誰もこの流感には免疫がないのですから、予防注射でもやらない限り誰でもうつる危險はあるわけですが、次のようなことに氣をつけることにより、ある程度予防出來ます。

❶ 飛沫感染ですから、感冒の人に咳を吹きかけられぬように注意する。これが予防の第一歩ですからマスクをかければ幾分防がれます。（マスクは病人自身がかけるのがよろしい）

❷ 狹い閉ぢこめた室に感冒患者と同席すればうつるから、感冒の人と同室にいないこと。

❸ 室内の換氣、通風を良くする必要があるし、健康の人がいる室でも必要である。

❹ 寒氣にさらされたり、疲労したりすると、感冒にかかりやすい。

❺ マスクは極端な寒氣を防ぐ時だけ用いるべきで、これを常用すると却つて咽頭の粘膜を弱める結果となるから常用しないこと。

❻ うがいをすること、それによつてのどについている菌を洗い流し、或いはうすめることとなります。從つてうがいは決して藥でする必要はない。水で結構である。

❼ 冷水摩擦、乾布摩擦をしたり、薄着の習慣をふだんからつけて皮膚を丈夫にして置くことも必要である。

❽ 暖房が行届き過ぎて室温が高すぎると感冒にかかり易い。（戰時中の薪炭不足の時は余りに感冒はなかつた）

玉蜀黍（もち）の作り方

◎選粒は手まめに

數多くある作物中玉蜀黍ほど交雜し易く、一年で品種の變るものはない。今屋内外に乾燥中のもち玉蜀黍を拝見すると、交雜しうるものが少くない。

もちにつこうとする時は雌穗（玉蜀黍の實）の一粒一粒がもちであるかどうかを判斷、もちのみを選ばなければならない。

もちになる粒は、白色に近い蠟質（狀）であつて、黄色や先端の變色したものは手まめに除去しなければならない。

◎用途と問題点

もち玉蜀黍は新作物で、生食用にもなるが、生食用の甘味のもち玉蜀黍とは全く異るもので、白色蠟質のものである。もち玉蜀黍はもち米に劣らぬねばりをもちもち米同様多數の加工（もち菓子類、水飴、甘酒等）が出來、破碎小粒は米と混合、炊飯用にも出來て利用價値高く、特にもちぬきの日本人には適した作物といえよう。

もち蕚の加工には刺皮と胚芽の分離が問題点であり目下問題点を研究中である。又全粒の一〇～一四％が胚芽で、胚芽の中に三〇％の脂肪を含んでいるので無造作に粉砕すると、粉中四～五％の脂肪を含むことになるので、長く貯藏する場合腐敗を招き、食味も低下することになるので、注意しなければならない。

◎もちの作り方

現在行われている方法は大体次の通りである。

(1) 水漬＝乾燥した種粒を二～三時間つける。

(2) 水上げ＝水より上げて三〇分位ザル等に攪げ放置する。

(3) 挽割＝一石臼又は動力粉砕機で、最初二ツ割、次に四ツ割、最後に八ツ割程度迄に挽き割る。

(4) 水洗＝粉末になつたものを二分目位の篩で取り除き、残りをよく水洗して浮き上つた皮と胚芽をよく洗流す。

(5) 乾燥＝貯藏する場合は、日光又は火力でよく乾燥して置く。

(6) 精粉精白＝このような工程をへた挽割粒は、石臼又は動力粉砕機で粉砕し小米程度のものや、粗粉とする。精白歩留は大体六五～七五％である。

(7) もち＝(イ)小米程度の大きさのものをむしてつく。(ロ)粗粉、輕く水打ちをしてしばらくおき、ボール位の大きさに丸めてこれを二ツ割にして「セイロ」に並べてむしてつく。(ハ)もち米を二〇％加えると水稻もちに間違える程よいもちになる。

◎參考、加工（もち）成績

中部地區普及所供試量もち玉蜀黍　五升一貫六九〇匁、一升、三三八匁。

三時間水漬重二貫〇〇〇匁

粉砕水洗後重一貫六二〇匁

胚芽二〇〇匁、皮一六〇匁

自然減耗二〇匁

試食概況

機械つきもち食味　中等

白つきもち食味　上等

（高井技師）

郷土物館をつくる

教育委員會では最近急速に失われつつある文化財を保存すべく田澤中學校に郷土物館を設ける計畫である。

差當り民具（昔使つた生活用具－衣食住に關するもの、その他）を中心とし、土器石器類を集める方針で村民の協力が望まれている。

ゲームの遊び方

ゲームは小學生からお年寄に至るまで、しかも二人きりの差向いから多人數に至るまで、その一人々々が楽しく、その趣味、し好能力などに應じてそれ〴〵楽しめるものであるが、そのうち室内で出來るやさしいゲームを一、二紹介してみよう。

◇送り競爭

まず全員を二組に同人數にわけ、二列に並びます。審判は各列の一番後の人に前へ傳えるべきことを書いた紙を渡し「用意ドン」で紙に書いてあることを前の人の背中に指で書きます。書かれた人は解つたらひさをポンとたたいて合図し、又その前の人の背中に書きます。このようにして最後に一番前の人が傳えられたことを紙に書いて審判の所に持つて行き、早く正しい方が勝ちです。

二組でなく三組でも四組でもよいが、一組が四人以下では面白くありません。送る事柄は簡單なことがよいと思います。競技中は絶對に口をきいてはいけません。

◇豆送り競爭

用意するものは、豆を二十粒（大豆とか、えん豆等の丸い豆がよろしい）小皿四枚、丸箸を二ぜん用意します。

人數は紅白の二組にわけ横に向い合せに並びます。そして一番目の人の前に小皿を二枚と丸箸をおき、一枚の小皿に豆を十粒ずつ入れておきます。そこで「用意ドン」のかけ聲と共に丸箸で小皿に入つている豆をつまんでもう一枚の小皿の方に豆を移しかえるのです。そして全部移し終つたら二番目の人に渡し、早く最後の人まで濟ませた組が勝ちです。

丸い豆なのでなか／＼思うようにつまめず、又應援の聲であわてるので、いつそうまくつまめず、單純ですが、それだけに大勢でやると一層面白い遊びです。皿の外へ落した場合はそれを又元の皿へ箸でひろい戻さねばなりません（豆のかわりに手拭で鉢巻を次ぎ次ぎにしてゆく場合もあります）

◇連想遊び

全員輪になつて並びます。そして一人がなんでも好みのものをいいます。例えば「花」というと次の人は「植木鉢」と花に關連のあるものをいいますと次は「土」といいます。次が「野菜」次が「大根」次が「たくわん」というように次々に關連のあるものを云つて行きます。同じものは二度いいません。又五秒以上かかつた人や、全然關連のないものをいつた人は失格者とします。

昭和三十二年度優良乳幼児

左から三人目女子一位高橋享子ちゃん（宮中）
四人目男子一位吉楽伝ちゃん（宮中）

昭和三十一年度優良乳幼児

左から三人目女子一位村山秀子ちゃん（東田沢）四人目男子一位寺井司ちゃん（千溝）

赤ちゃんコンクール

滿一歳の優良乳幼兒について例年公民館と村國民健康保險の共催で行つて來た表彰が、去る十一月十五日田澤小学校において昭和三十一年度分も併せ擧行され、公民館長よりそれぞれ賞状と記念品が贈られ、受賞者を代表し宮中部落の高橋やすさんから謝辭があり、その後映寫会座談会がもたれ楽しいお嫁さん方の一日が過された。

小出まで公衆電話

電々公社では農村の五〇戸以上の部落について、無電話部落解消をする計畫を企して、初年度において本村がこの適用を受け、全額公社負担でこの程小出、角間東田尻、程島に公衆電話の布設が出來た。なほ來年度引繼き下山、田代、清田山に施設してもらうべく計畫されている。

猫に

渡辺不二夫

猫よお前にはそういうことがなかつたか
はげしい希望を　現實に強くたたきつけたとき
コンクリートにぶつけられたコップのように
それが悲哀の音を殘して
コナゴナに飛び散つたことが……
はげしいだけに
その破先は
末來を強く乱反射して
私はその一つの破片を追う
氣力もなく
過片など
まして現在にいて未來等…
ああ黒い猫よ
ひなたぼつこをしているお前は何と幸せだろう
私の平手打を輕くあしらつて
只のき下から屋根に上つただけ　私に
私にそれが出來たら！
消えて行く雲に
流れ行く脊濁に
想いは切なくゆすられて
今!!今消えようとしている
猫よ　もう一度
せめてもう一度下りて來て
こんな私の爲に
打たれてはくれないか
それだつて一瞬の憂さ晴し
とは知つているが
それでいいんだ